

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年5月14日 (2009.5.14)

【公開番号】特開2008-161503(P2008-161503A)

【公開日】平成20年7月17日 (2008.7.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-028

【出願番号】特願2006-355287(P2006-355287)

【国際特許分類】

A 4 7 L 9/24 (2006.01)

A 4 7 L 5/32 (2006.01)

A 4 7 L 9/32 (2006.01)

【F I】

A 4 7 L 9/24 Z

A 4 7 L 5/32

A 4 7 L 9/32 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月27日 (2009.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電動送風機を内装する本体部と、前記本体部の下方に配される吸込口体と、一端に吸気口が形成される直線部と前記直線部に連続する屈曲部とを有して前記本体部に着脱自在に設けられるとともに使用者が把持する把持部が設けられる延長パイプと、前記屈曲部の軸方向に垂直な回動軸で回動自在に前記屈曲部の端部に取り付けられる可動部と、前記可動部と前記本体部とを連結する伸縮自在の接続ホースと、前記屈曲部に挿通して一端が前記直線部に接続されるとともに他端を前記可動部に固着して前記接続ホースと連通する中間ホースとを備え、

前記中間ホースは先端が前記直線部に挿入されるとともに外周面に突出する凸部が設けられ、前記直線部は前記凸部が嵌合して前記直線部と前記中間ホースとを連結する孔部と、前記孔部に対して周方向に離れるとともに前記屈曲部側を開放して前記直線部に凹設される溝部とを有することを特徴とする縦型電気掃除機。

【請求項 2】

前記直線部は前記中間ホースを接続する側の端部が外筒に内筒を内嵌して形成され、前記孔部が前記内筒に設けた貫通孔から成るとともに、前記内筒の先端を切欠いて前記溝部が形成されることを特徴とする請求項 1 に記載の縦型電気掃除機。

【請求項 3】

前記直線部と前記接続ホースとを平行に配置した際に前記屈曲部は前記接続ホースの延長上が開放されることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の縦型電気掃除機。